

## 設備機器の利用状況について

## 目的

利用促進のため、比較的最近設置された装置のうち、概ね 500 万円以上の高額機器で利用が少ないものについて報告する。

## 利用状況

年間利用講座数 (利用人数)
年間利用回数

設備機器名 (設置年度：メーカー)	2020 年度	2021 年度	2022 年度 (4 月～8 月)
HPLC システム Alliance (2019 年度：ウォーターズ)	2 (2)	1 (1)	0 (0)
	7	2	0
レーザーマイクロダイセクション LMD6 (2018 年度：ライカ)	1 (1)	3 (4)	1 (2)
	2	35	23
マルチプレックスシステム Bio-Plex 200 (2018 年度：バイオラッド)	3 (4)	2 (3)	2 (3)
	7	10	9
MALDI 型質量分析装置一式 Autoflex TOF/TOF (2013 年度：ブルカー)	1 (1)	3 (3)	1 (1)
	2	8	3
透過型電子顕微鏡 JEM-1400Plus (2013 年度：日本電子)	3 (4)	7 (8)	5 (7)
	14	78	142

JEM-1400Plus は比較的利用回数が多いが、1 講座の利用を除くと回数が少ないため掲載した。

設備機器名 (設置年度：キャピラリー本数)	2020 年度	2021 年度	2022 年度 (4 月～8 月)
ジェネティックアナライザー 3500xL (2014 年度：24 本)	70	52	24
ジェネティックアナライザー 3130xl (2006 年度：16 本)	175	197	89

3500xL と 3130xl は年間利用回数のみ記載。3130xl は、3500xL との比較のために掲載した。